

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月16日

計画の名称	勝央町宅地耐震化推進事業												
計画の期間	令和03年度～令和04年度(2年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	勝央町												
計画の目標	大規模盛土造成地(第一次スクリーニング)で抽出された箇所を対象に、第二次スクリーニング(現地踏査、優先度判定)の計画を策定する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R4
1	第一次スクリーニングで抽出された箇所を、第二次スクリーニング(現地踏査、優先度評価)を計画する。			
	第二次スクリーニング(現地踏査、優先度評価)計画を実施した箇所数	0箇所	0箇所	21箇所
	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成のうち現地踏査、優先度評価を実施した箇所			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	勝央町	直接	勝央町	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画策 定	勝央町	■	■				4		—	
												小計						4		
												合計						4		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
勝央町役場産業建設部にて評価を実施	令和5年5月
	公表の方法 勝央町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングによって抽出された大規模盛土造成地（21箇所）について、基礎資料整理・現地踏査を行い、宅地カルテを作成した。新たな考え方を適用した上で第二次スクリーニングの優先度評価を行い、今後の調査計画（経過観察調査）を立案し、災害の未然防止や被害の軽減に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

調査計画（経過観察調査）に基づき、状況の変化や変状の発生等について概ね5年ごとに調査を行う。
大地震後、豪雨後には別途経過観察調査を行う。
優先度の高い盛土が確認されなかったことから当面第二次スクリーニングは実施しないが、変状が確認された場合などは第二次スクリーニングの実施を検討する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング計画（現地踏査、優先度評価）を実施した箇所数	
	最終目標値	21箇所
	最終実績値	21箇所